

令和5年9月28日  
国土交通省関東地方整備局  
長野国道事務所

## 工事発注手続きについて

～「R5国道19号長野市信州新町日原西歩道設置工事」の発注手続きを行います～

長野国道事務所が発注する「R5国道19号長野市信州新町日原西歩道設置工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R5国道19号長野市信州新町日原西歩道設置工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

### 【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 見積活用方式
5. 間接工事費実績変更方式
6. 余裕期間制度（フレックス方式）

※詳細は次頁をご覧ください。

### <発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ さいたま市政記者クラブ

### <問い合わせ先>

関東地方整備局 長野国道事務所

電話:026-264-7001（代表） FAX:026-264-7042

副所長（技術） 西東 俊郎（さいとう としろう）

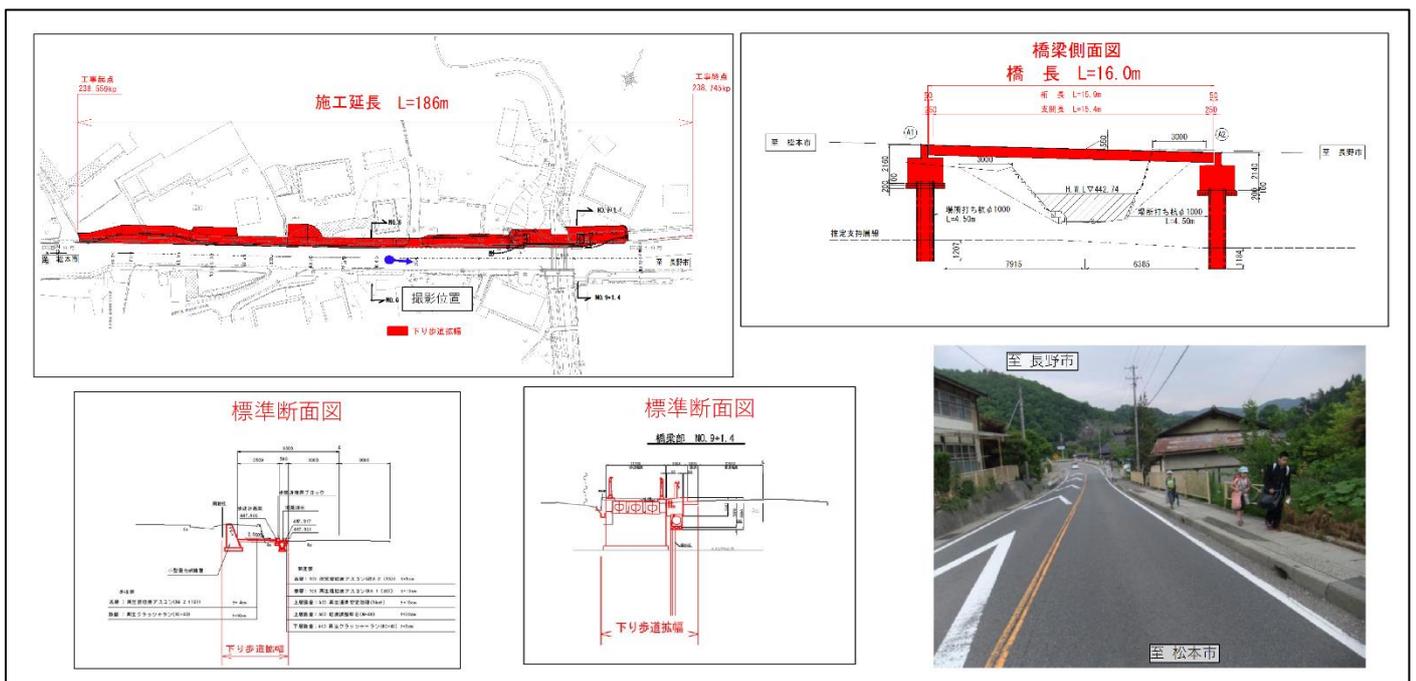
保全対策官 寺島 憲一郎（てらしま けんいちろう）

《工事概要》

- (1) 工事名：R5国道19号長野市信州新町日原西歩道設置工事  
ながのけんながのしんしゅうしんまちひらにしちさき
- (2) 工事場所：長野県長野市信州新町日原西地先
- (3) 工期：全体工期 契約の翌日から令和6年7月31日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：一般土木 C等級又はB等級
- (6) 工事内容（概要）：掘削工 約310<sup>3</sup>m<sup>3</sup>

路体盛土工	約50 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>
車道舗装工	約100 <sup>2</sup> m <sup>2</sup>
歩道舗装工	約280 <sup>2</sup> m <sup>2</sup>
乗入舗装工	約110 <sup>2</sup> m <sup>2</sup>
橋面舗装工	約31 <sup>2</sup> m <sup>2</sup>
排水構造物工	約136m
管渠工	約20m
集水枡工	13箇所
擁壁工	約78m
縁石工	約137m
防護柵工	約45m
区画線工	約542m
PC橋	約16m
コンクリート橋台	2基
橋梁附属物工	1式
構造物撤去工	1式
情報ボックス工	1式
管路工	1式
仮設工	1式

■工事概要図



## 《不調・不落対策等》

### 1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

### 2. 競争参加資格の緩和

#### 1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を「長野県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から「関東地方整備局管内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に拡大します。

#### 2) 対象等級の拡大

競争参加社数が少数と見込まれることから、対象等級をC等級からC等級又はB等級に拡大します。

#### 3) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「橋梁下部工」に限定せず、「コンクリート構造物工」として緩和をします。

### 3. 難工事指定

本工事は、交通量の多い国道19号での作業となり、交通規制を行いながら側道橋の架設及び車道舗装等を施工することから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間が評価対象となります。

### 4. 見積活用方式

○見積の提出を求める工種

直接工事費のうち「PC橋工」「橋梁付属物工」「橋台工」「仮設工」

○見積の提出を求める理由

施工にあたっては、山間部における交通量の多い片側1車線の現道であり、沿道に近接

する民家の出入りを確保しながらの狭隘な作業ヤード内での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。このため、標準的な積算と実施価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

#### 5. 間接工事費実績変更方式

○実績により変更を行う工種

・ 共通仮設費（率分）のうち、「運搬費」、「安全費」

○実績により変更を行う理由

工事箇所は、沿道に民家が近接し、施工ヤードも現道を規制しながらの狭小な箇所です。運搬費について、山間部における交通量が多い片側1車線の現道上の工事のため、資機材置き場の確保が困難であり、基地から日々回送が必要となることが想定されます。

また、安全費について、交通量が多い現道上の工事であり、また、人口密集地域のため、協議等により、標示板、保安燈等安全施設類に要する費用が多くなることが想定されます。

以上により、「運搬費」、「安全費」について、間接工事費実績変更方式を試行します。

#### 6. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和6年7月31日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

#### 《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	: 令和 5年 9月28日 (木)
○技術資料等の提出期限	: 令和 5年10月13日 (金)
○入札書・工事費内訳書の提出期限	: 令和 5年11月14日 (火)
○開札日	: 令和 5年11月17日 (金)

# 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式・企業実績評価型）の試行について

## 【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化（個別発注時では不要）
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**  
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

